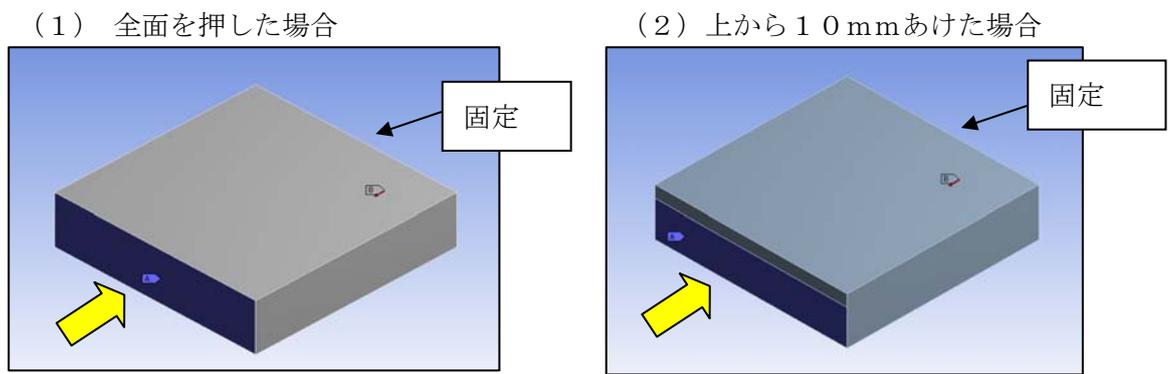


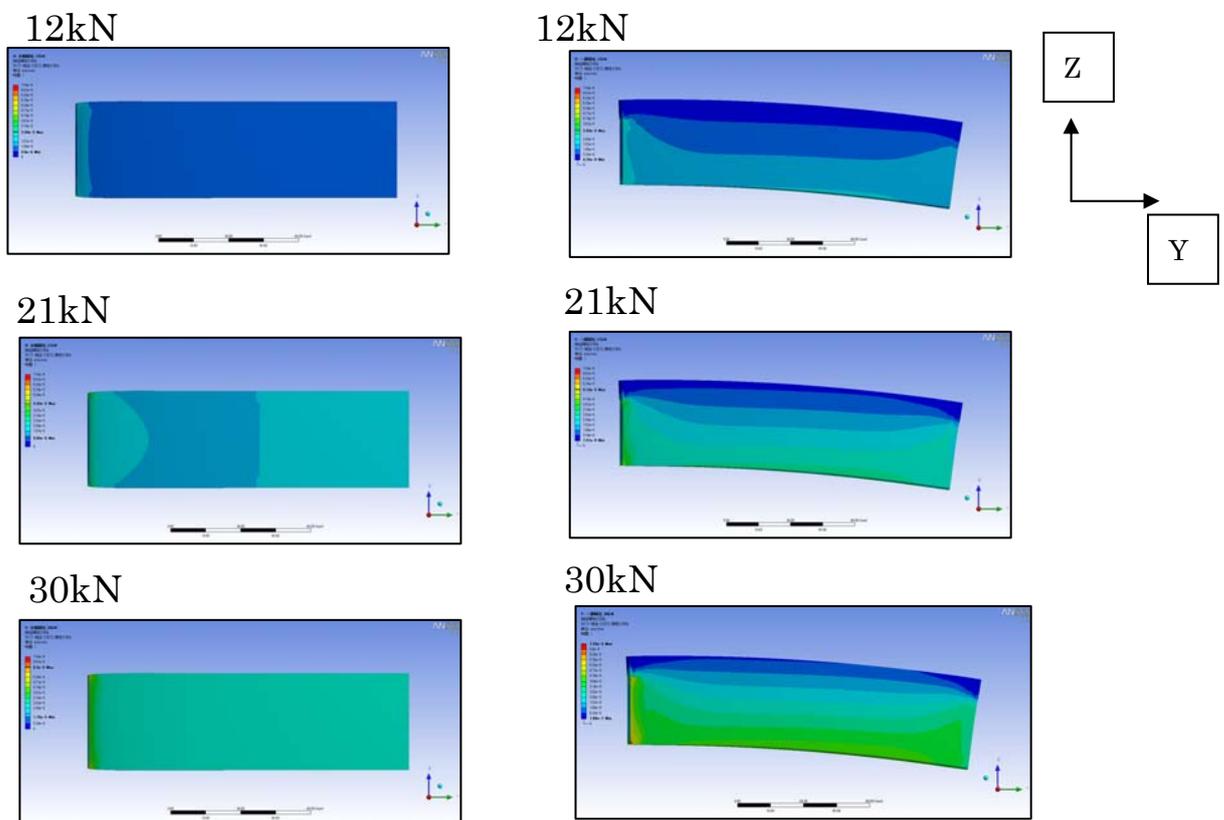
チャック時における閉め付け荷重の違いによるワークひずみの検討

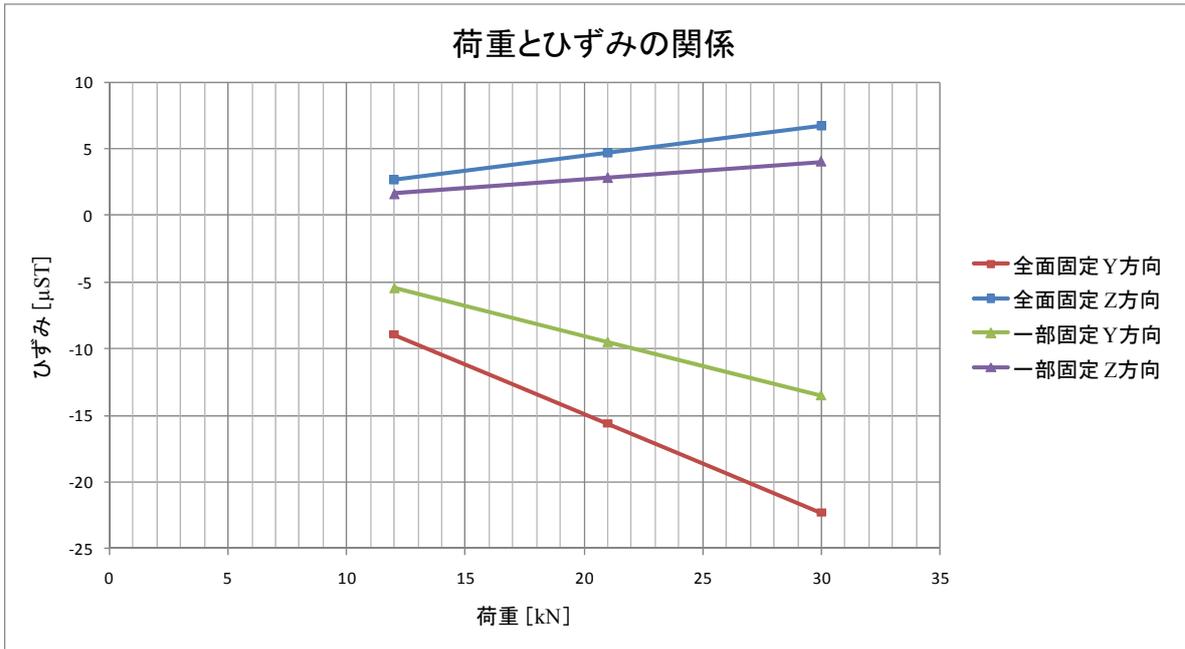
目的：チャック時の閉め付け荷重を変えた場合のワークのひずみ量をC A E 計算によって求める。

目標：締め付け荷重 1 2 k N、2 1 k N、3 0 k N のときの変形量を



結果： ひずみ





荷重とともにひずみが増加している。